



みどり



57号 『片側顔面痙攣』

2012年12月1日発行／編集責任者 田中 眞／毎月1日発行／群馬県藤岡市篠塚105-1
<http://www.shinozuka-hp.or.jp/center/>

顔に症状がでる病気を紹介していますが、今月は「片側顔面痙攣」です。

これまで「顔面神経麻痺」「三叉神経痛」を紹介してきましたが、似たような名前の病気が続いて混乱してしまうかもしれませんので、症状のおさらいをしておきます。「顔面神経麻痺」は顔の筋肉の動きが悪くなる病気、「三叉神経痛」は顔に痛みが出る病気でした。

それでは「片側顔面痙攣」についてみていきましょう。

片側顔面痙攣ってどんな病気？

その名の通り、顔の半側（右もしくは左側）がピクピクと痙攣したり引きつったりする病気です。私たちはふだん自分の意志で顔の筋肉を動かしているのですが、この病気でみられる顔の筋肉の動きは、自分の意志とは関係ない動きです。表1, 2に片側顔面痙攣の症状と特徴をまとめました。

表1. 片側顔面痙攣の症状

- ◎ 初期症状：片側の目（特に下まぶた）の周囲がピクピク痙攣する。
- ◎ 次第に同側の額、頬、口や顎へ範囲が広がっていく；顔が引きつって歪んだり、片目がぎゅーとつぶったままになることも。

表2. 片側顔面痙攣の特徴

- ◎ 40代以降の中老年層での発症率が高い。
- ◎ 女性に多い。
- ◎ 増悪因子：
会話や飲食…顔面の筋肉を自分の意志で動かす動作
疲労や精神的緊張

片側顔面痙攣の原因は？

みどり 55号「顔面神経麻痺」でも述べたように、顔面の筋肉は顔面神経で支配されています。その顔面神経が、脳幹から出る根元のところで血管による圧迫を受けるのが原因です。

神経はミエリンという鞘（さや）で覆われています（これは神経を電気コードに例えると周りを覆っているビニールに相当します）。顔面神経が脳幹から出た直後の1-3mmほどの領域は、この鞘が構造的に弱くなっているところです。そのためこの領域への動脈の拍動性かつ持続性の圧迫は、鞘にダメージを与えたり、中を走っている神経そのものが刺激される原因となるのです（図1）。

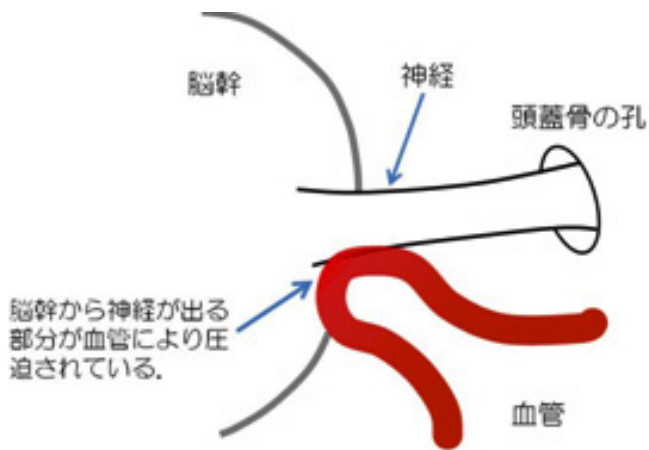
* * * * *

「血管による神経の圧迫」。どこかで耳にしたような…。そうです、先月のみどり 56号で紹介した「三叉神経痛」も、三叉神経の根元の部分

が蛇行した血管により圧迫されることが原因となつて生じる病気でした。血管の蛇行や屈曲の原因として動脈硬化が考えられており、動脈硬化が進行する中年以降で病気が増えると述べましたが、片側顔面痙攣でも同様のことがいえま

す。
脳神経が血管により圧迫されることにより症状が出る病気は「神経血管圧迫症候群」と呼ばれ、三叉神経痛や片側顔面神経のほか、舌咽神経痛やめまい症などの原因になることが知られています。

図 1. 血管による脳神経の圧迫 (模式図)



千葉大学医学部脳神経外科 HP より

* * * * *

頻度は多くありませんが、血管による圧迫以外では顔面神経麻痺の後遺症、脳動脈瘤、腫瘍などが原因となります。いずれにしても原因を調べるために、次に紹介する MRI などの画像検査が必要となります。

片側顔面痙攣の診断は？

上述した原因を踏まえて神経と血管の位置関係や腫瘍などの有無をみるためには MRI 検査が必要となります。

当院の高磁場 MRI で診断された片側顔面痙攣の例を図 2 に紹介します。顔面神経も血管も 1~数 mm の太さしかなく、通常の撮影方法では

位置関係を正確に評価するのは困難です。そこで片側顔面痙攣が疑われる方には血管や神経の走行を追うのに適した撮影方法が選択されます。

三叉神経痛の治療は？

表 3 に示すような選択肢があります。

表 3. 片側顔面痙攣の治療

- ◎内科的治療：ボツリヌス毒素療法，内服薬
- ◎外科的治療：微小血管減圧術

第一選択となるのは侵襲の少ない内科的治療です。なかでもボツリヌス菌により産生される A 型ボツリヌス毒素を痙攣している筋肉内に注射する方法が 2000 年に承認されて以来広く行われており十分な効果が期待できます。ただしボツリヌス毒素の効果は数ヶ月ほどでなくなるため、注射を繰り返す必要があります。

外科的治療は内科的治療の効果が不十分な方に検討されます。外科的治療法である微小血管減圧術は、蛇行血管が顔面神経に触れないようにする根治療法です。

当院でも経験豊富な医師がボツリヌス毒素療法を行っていますので、ご相談ください。

図 2. 左側顔面痙攣の MRI(T2 強調画像 CISS 法)



* * * * *

早いもので今年もあとひと月を残すところとなりました。皆様よい年をお迎えください。

(文責 金子 由夏)